



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

福井大学遠赤外領域開発研究センター教授

1. 教授 1 名
2. (1) 遠赤外領域開発研究センター・遠赤外応用技術部門
(2) 福井県福井市
3. テラヘルツ帯を含む広い意味での遠赤外応用研究。
4. 上記専門分野の研究と遠赤外領域開発研究センターの他部門との連携研究および工学部物理工学科および大学院工学研究科における専門科目と研究指導。なお、他学科向けの専門基礎科目や全学共通科目を担当することもある。
5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期
(2) なし
6. 博士号取得者
7. (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト、(3) 主要論文別刷 10 編、(4) 科研費等外部資金の取得リスト、(5) 研究業績の概要（1,200 字程度）、(6) 今後の研究計画（1,200 字程度）、(6) 推薦書又は照会可能な方 2 名の氏名と連絡先（住所および電話番号）
8. 2007 年 8 月 24 日（金）必着
9. 〒910-8507 福井市文京 3-9-1
福井大学遠赤外領域開発研究センター長
斉藤輝雄
Tel: 0776-27-9762
E-mail: saitot@fir.fukui-u.ac.jp
10. 封筒に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。

慶應義塾大学理工学部物理学科教員

1. 教授または准教授 1 名
2. (1) 慶應義塾大学理工学部物理学科、同大学院理工学研究科基礎理工学専攻（物理学分野）
(2) 神奈川県横浜市港北区日吉
3. 観測に立脚した宇宙物理学（実験系）、新たに研究室を立ち上げて頂く。
4. 学部・大学院における講義・実験を担当し、学科・学部の運営にも積極的に協力頂ける方。
5. (1) 2008 年 4 月 1 日
(2) なし（定年は 65 歳）
6. 55 歳以下が望ましい。
7. (1) 履歴書（教育歴・e-mail アドレスを記入のこと）、(2) 業績リスト、(3) 研究業績の概要（共同研究などの場合には応募者の寄与を明記すること）、(4) 主要論文別刷 5 編以内（コピー可、共著の場合は研究内容・執筆の分担に関するメモ添付）、(5) 競争的資金の獲得状況、(6) 着任後の研究計画と教育に対する抱負（2,000 字程度）、(7) 推薦書 1 通および照会可能な方 2 名の氏名、所属、連絡先（含 e-mail アドレス）
8. 2007 年 8 月 20 日（月）必着
9. (1) 〒223-8522 横浜市港北区日吉 3-14-1
慶應義塾大学理工学部物理学科主任
辻 和彦
(2) 問合せ先：物理学科主任 辻 和彦
Tel: 045-566-1687
Fax: 045-566-1672（学科事務室）
E-mail: tsuji@phys.keio.ac.jp
10. 封筒に「応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。
11. 近い将来に助教の採用を予定。

東京理科大学理学部第二部物理学科専任教員

1. 教授または准教授 1 名
2. 東京理科大学理学部第二部物理学科宇宙物理学研究室を主宰していただく。

3. 宇宙物理学
4. 学部の物理学講義と学生実験の科目を担当する。大学院理学研究科の教育・研究指導を行う。
5. (1) 2008年4月1日
(2) 定年65歳
6. (1) 博士の学位を有すること。
(2) 2008年4月1日着任時に准教授は40歳前後、教授は50歳前後であること。
7. (1) 履歴書(写真添付, 連絡先・e-mail アドレス等を明記すること), (2) 研究業績リスト(査読付き論文とその他を区別して表記すること), (3) 主論文(5編以内)の別刷(コピー可), (4) これまでの研究業績の概要(1,000字程度)とこれからの研究計画(1,000字程度), (5) 理学部第二部(夜間部)における教育に対する抱負など(1,000字程度), (6) 応募者に関する所見を伺える方3名の氏名と連絡先(e-mail アドレスなど)
8. 2007年7月31日(火) 必着
9. 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
東京理科大学理学部第二部物理学科
主任・教授 鈴木 彰
E-mail: koubo@rs.kagu.tus.ac.jp
10. 封筒には「教員応募書類(宇宙物理) 在中」と朱書し, 簡易書留で郵送してください。
11. ●選考過程において, 面接をお願いすることがあります(交通費自己負担)。
●応募書類は返却いたしません。

国立天文台研究教育職員(ハワイ観測所)

1. 助教 1名
2. (1) 国立天文台ハワイ観測所
(2) アメリカ合衆国ハワイ州ヒロ
3. 天文学及び関連分野
4. 国立天文台ハワイ観測所では, すばる望遠鏡による共同利用観測を推進すると同時に, 将来に向けての様々な開発研究を行っています。すばる望遠鏡による高いレベルの研究成果を維持・向上させていくことを目的として, 観測装置やソフトウェアの開発研究を推進すると同時に, 望遠鏡の科学運用をリードする助教を求めます。
5. (1) 採用決定後できるだけ早い時期。
(2) 5年。再任なし。ただし, 任期満了時の業績評価に基づき, 任期のない助教となることが可能です。
6. 大学院博士課程修了, またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書, (2) 論文リスト, (3) 研究業績(これ

までの天文学研究の業績の他に, 観測装置やソフトウェアの開発研究, 科学運用に関する業績を具体的に記入して下さい), (4) 研究計画書(個人で行う研究の計画に加えて, ハワイ観測所で観測装置やソフトウェアの開発研究や科学運用を担うにあたっての抱負・方針を具体的に記入して下さい), (5) 本人について意見を述べられる方3名の氏名と連絡先, (6) e-mail アドレス

8. 2007年7月31日(火) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台台長 観山正見
(2) 国立天文台ハワイ観測所所長 林 正彦
Subaru Telescope, 650 North Aohoku Place,
Hilo, HI 96720, USA
Tel: +1-808-934-5071
Fax: +1-808-934-5984
E-mail: masa@subaru.naoj.org
10. 封筒の表に「ハワイ観測所助教応募書類在中」と朱書し, 郵送の場合は配達記録でお送り下さい。選考は国立天文台運営会議で行います。

京都大学基礎物理学研究所教授

1. 教授 1名
3. 宇宙物理学(理論)
5. (1) 平成20年4月1日以降できるだけ早い時期(決定は平成19年9月予定)。
(2) 5年から10年
7. (1) 履歴書, (2) 発表論文リスト(主要論文5点以内に印を付けること), (3) 主要論文(2)で印を付けた論文の別刷(コピー可), (4) 研究歴(研究成果の説明), (5) 就任した場合の研究計画, (6) 着任可能時期[以上各2通], 他薦の場合はさらに(7) 推薦書1通
8. 平成19年7月17日(火) 必着
9. (1) 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学基礎物理学研究所長 江口 徹
(2) 同研究所プロジェクトマネージャー
藤田裕子
Tel: 075-753-7009(直通)
Email: fujita@yukawa.kyoto-u.ac.jp
10. 封筒に「宇宙物理学(理論) 教授応募(推薦) 書類在中」と朱書のこと。提出書類は原則として返却しません。

文教大学教育学部教員

1. 教授, 准教授, 又は講師 1名
2. (1) 教育学部学校教育課程理科専修
(2) 埼玉県越谷市南荻島
3. 理科教育
4. 理科教育 I, 理科教育 II, 卒業研究, ほか
5. (1) 平成 20 年 4 月 1 日
6. (1) 年齢満 65 歳以下であること (平成 20 年 4 月 1 日現在), (2) 教員養成のための実践的な指導力があること, (3) 本学の特性を理解し, 教育研究活動のみならず, 校務その他にも積極的に協力出来ること. また, 以下の条件を満たすことが望ましい.
(i) 小学校, 中学校又は高等学校での教職経験を有すること. (ii) 修士以上の学位を有すること. (iii) 教育管理職経験を有すること.
7. (1) 履歴書 (写真貼付のこと) 1 部, (2) 教育研究業績書 1 部, (3) 研究業績 (教育業績も含む) のうち主要なもの 3 点 (研究業績 3 点については概要を 1 点毎に 1,000 字程度にまとめたものを添付すること). (4) 健康診断書 1 通
注意: (1)(2) は本学所定の様式を用いること.
※本学所定書式は, 下記の URL よりダウンロードできます.
<http://www.bunkyo.ac.jp/stf/kshomu/>
8. 平成 19 年 9 月 5 日 (水) 必着
9. (1) 〒343-8511 越谷市南荻島 3337 文教大学越谷校舎総務課
(2) 上記提出先と同じ.
Tel: 048-974-8811 Fax: 048-974-9439
E-mail:kshomu@www.bunkyo.ac.jp
10. 郵送のみ受付. 封筒の表に「教育学部学校教育課程理科教育教員応募書類在中」と朱書きし, 書留便とすること. 書類審査の結果は平成 19 年 9 月 20 日頃までに本人宛に通知します. 書類選考通過者には, 平成 19 年 9 月 29 日 (土) に面接 (模擬授業含む) を行います.
11. 応募提出書類の個人情報については審査時の資料とする以外には使用いたしません. 併せて採用予定者については労務管理以外には使用いたしません.

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

京都産業大学理学部物理科学科教員

1. 2006 年 11 月 (第 99 卷 11 号)
2. 米原厚憲 (Heidelberg 大学・日本学術振興会海外特別研究員)
3. 2007 年 4 月 1 日

国立天文台研究教育職員 (ハワイ観測所)

1. 2007 年 3 月 (第 100 卷 3 号)
2. 高見英樹 (国立天文台准教授)
3. 2007 年 6 月 1 日

研究助成

(財)住友財団 2007 年度基礎科学研究助成

1. 対象
理学 (数学, 物理学, 化学, 生物学) の各分野及びこれらの複数にまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの (それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む)
2. 応募資格
若手研究者 (個人またはグループ)
3. 助成金額
(1) 助成金の総額 1 億 3,000 万円
(2) 1 件当たりの助成額 最大 500 万円
(3) 助成件数の目処 100 件程度
(4) 助成期間 1 年間 但し希望される場合は更に 6 カ月間を限度として延長可.
4. 応募方法
住友財団のホームページ (<http://www.sumitomo.or.jp/>) 基礎科学研究助成から, 募集要項・申請書記入要領・申請書フォーム (PDF 一太郎 WORD) をダウンロードしていただくこともできますが, 申請書提出は財団まで郵送ください (担当 中山). 他に 2007 年度環境研究助成もあります (担当 佐藤).
5. 応募締切日
2007 年 6 月 30 日 (土) 必着
6. 連絡先
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-12-16

住友芝大門ビル 2 号館 財団法人住友財団
 Tel: 03-5473-0161 Fax: 03-5473-8471
 E-mail: sumitomo-found@msj.biglobe.ne.jp
 URL: <http://www.sumitomo.or.jp/>

研究会・集案案内

国立天文台野辺山特別公開のお知らせ

自然科学研究機構国立天文台
 野辺山宇宙電波観測所
 野辺山太陽電波観測所

第 21 回日本 IBM 科学賞

日本天文学会に標記の案内がきております。その概要をお知らせします。詳しくは下記日本 IBM ホームページを参照して下さい。

名称: 日本 IBM 科学賞

目的: わが国における学術研究の振興と若手研究者の育成

候補者資格:

- 1) 国内の大学あるいは公的研究機関に所属し、その研究活動の分野が、次の領域に該当する基礎研究者(国籍は問わない)

(1) 物理

(2) 化学

(3) コンピューターサイエンス(バイオインフォマティクスを含む)

(4) エレクトロニクス(バイオエレクトロニクスを含む)

- 2) 2007年8月15日現在満45歳以下であること
 受賞件数: 5件(原則として1件1名とします)
 推薦方法: 国内の大学あるいは公的研究機関等に所属されている方の推薦

締切: 2007年8月15日(水)必着。

選考: 審査委員会により決定する

賞金: 300万円(1件)副賞はメダル, 他

発表: 推薦者を通じて通知(10月下旬予定)

送付先: 〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

日本アイ・ビー・エム株式会社

「日本 IBM 科学賞」事務局

連絡先: 【事務局】Tel: 03-5563-4835

Fax: 03-5563-4886

E-mail: science@jp.ibm.com

※候補者推薦要項入手は以下の Web で受付けております。

日本 IBM ホームページ「科学の扉」

<http://www-06.ibm.com/jp/company/society/>

国立天文台野辺山観測所では、日頃行われている天体観測の様子や、最新の天文学研究の成果をより広く知っていただくため、下記の要領で観測所施設の特別公開を行います。暑い季節ですが、涼しい野辺山高原でみなさまのご来場をお待ちしています。

記

1. 日時 2007年8月25日(土)午前9時30分～午後4時
(入場は午後3時30分までです)
2. 場所 国立天文台野辺山
3. 展示・見学
通常の見学コースに加えて、45メートル電波望遠鏡・ミリ波干渉計・電波ヘリオグラフの各観測室や望遠鏡の内部を見学できます。また、宇宙・太陽からやってくる電波をとらえる観測装置の仕組みや最新の研究成果を実験と展示で解説します。工作体験コーナーや質問コーナーなどもあります。
4. 講演会
午前11時～午前12時
「太陽系創世記—星くずから地球へ—」
小久保 英一郎(国立天文台)
午後2時～午後3時
「砂漠放浪記—夢の望遠鏡アルマへの道—」
河野孝太郎(東京大学)
5. 交通
鉄道: JR 小海線野辺山駅下車徒歩30分(駅から無料シャトルバス運行)
自動車: 東京・名古屋方面から: 中央自動車道長坂インターから清里高原道路を経て約30分。または、中央自動車道須玉インターから国道141号線を白田・佐久方面へ約50分。群馬方面から: 上信越自動車道佐久インターから国道141号線を白田・清里方面へ約80分。
6. ご注意
・入場無料・雨天決行。

- スリッパを各自ご持参ください。
- 天文台内では食事の提供・販売はいたしませんので、ご了承ください。
- 天文台入口駐車場は大型バス・障害者専用となります。その他の自動車の方は、野辺山スキー場の駐車場をご利用ください。スキー場から観測所まで無料シャトルバスを運行します。
- 当日は、会場準備の都合上、午前9時30分から午後4時のみの開場となります。

7. 問い合わせ先

国立天文台野辺山

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山 462-2

Tel: 0267-98-4300 (代表)

<http://www.nro.nao.ac.jp/~openday/>

2007年国立天文台水沢特別公開のお知らせ

国立天文台水沢 VERA 観測所・RISE 推進室では、下記の要領で特別公開を開催します。普段公開していない施設の公開や、研究成果の紹介、講演会などを予定しております。入場無料。構内に駐車可能です。一人でも多くの皆様の来所をお待ちしております。

(1) 水沢地区

日 時: 2007年7月28日(土) 10:00~16:00

場 所: 国立天文台水沢 VERA 観測所

岩手県奥州市水沢区星が丘町 2-12

テーマ: 惑星研究の最前線

水沢地区サブテーマ: 探査機で観る月の新しい姿

内 容: 施設公開, 研究紹介, 講演会, ビデオ上映等講演会:

講 師: 佐々木 晶

(国立天文台 RISE 推進室 教授)

演 題: 「探査で明らかになる太陽系の歴史」

講 師: 河野宣之

(国立天文台 RISE 推進室 教授)

演 題: 「月探査から月面天文観測へ」

(2) VERA 観測所の特別公開

VERA の各観測所でも特別公開を以下の日程で行います。内容は、施設公開, 研究紹介, 講演会, ビデオ上映, 観望会等です。観測所ごとに特色を出し、内容に違いがある場合があります。詳細をご確認ください。

VERA 入来観測局: 鹿児島県薩摩川内市入来町浦之名
4018-3

月 日: 2007年8月4日(土)

VERA 石垣島観測局: 沖縄県石垣市登野城高田

2389-1

月 日: 2007年8月18日(土), 19日(日)

VERA 小笠原観測局: 東京都小笠原村父島旭山

月 日: 2007年11月予定

問い合わせ先: 国立天文台水沢 VERA 観測所

Tel: 0197-22-7111 (代表)

<http://www.miz.nao.ac.jp/mizhome.html>

第16回公開セミナー「天文学の最前線」

— 謎に挑む日本の宇宙望遠鏡 —

名古屋大学では毎年8月に、第一線で活躍する天文学研究者を集め、一般向けの分かりやすい講演会と研究室見学を開催しております。「ひので」「すざく」「あかり」という三つの天文衛星が同時に活躍し、日本の天文学はかつてない「宇宙望遠鏡時代」を迎えております。本年はこれらの宇宙望遠鏡による最新の観測結果を中心として、天文学の最先端を分かりやすくご紹介いたします。

日 時: 平成19年8月25日(土)~27日(月)

会 場: 名古屋大学 IB 電子情報館, 理学部棟・名古屋市科学館

主 催: 名古屋大学大学院理学研究科・名古屋市科学館

協 賛: 愛知の発明日

招待講師: 平林 久 (JAXA), 柴田一成 (京都大学・教授), 尾中 敬 (東京大学・教授), 山崎典子 (JAXA・准教授), 藤井良一 (名古屋大学・教授)

対 象: 高校生以上

定 員: 300名 (高校生・大学生・教員優先。但し, 実験実習は100名)

受講料: 無料 (但し資料代実費 500円 (高大生), 1,000円 (一般) をいただきます。)

締 切: 7月22日(日)

申込方法: ハガキまたはインターネットで受け付け (申し込み多数の場合は抽選)

○インターネットの場合: 公開セミナーホームページからお申し込みください。 (<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/astro/seminar/>)

○ハガキの場合: 住所, 氏名, 参加人数, 高校生・大学生・教員・その他一般の区分, 実験実習参加希望の有無を記入の上, 下記までお送りください。

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番1号

名古屋市科学館「公開セミナー」係まで

(この情報は、本主催者が開くセミナー等の案内以外には使用しません。また、締め切り後、一週

間程度で受講票をお送りします。当日は、受講票を持参の上参加ください。

問い合わせ先：名古屋大学大学院理学研究科「公開セミナー」係 Tel: 052-789-2453

第3回最新の天文学の普及をめざすワークショップ参加者募集

「最新の天文学の普及をめざす会」は、プラネタリウムや公開天文台など、天文教育担当者を対象に最新の太陽科学を学ぶワークショップを下記のように開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

記

日程：2007年9月8日13時～10日14時

場所：京都大学飛騨天文台

〒506-1314 岐阜県高山市上宝町蔵柱

Tel: 0578-86-2311 FAX: 0578-86-2118

定員：30名

参加費：およそ1万5,000円（主に会期中の宿泊費、食事及び懇親会費）

応募方法：希望者は氏名、連絡先、e-mail アドレス、所属を明記して、レポート「太陽科学に対する私の興味」（A4, 1ページ程度）を添付して7月10日までに杉並区立科学館伊東までお送りください。参加者選考結果は7月20日に本人あて通知します。

応募締切：平成19年7月10日（火）

応募先：〒167-0033 杉並区清水3-3-13

杉並区立科学館 伊東昌市あて

Tel: 03-3396-4391 Fax: 03-3396-4393

E-mail: itoh@science.suginami-ku.ed.jp

主催：最新の天文学の普及をめざす会（代表：伊東昌市）

後援：（予定）京都大学附属天文台、名古屋大学太陽地球環境研究所、国立天文台、日本天文学会、太陽研究者連絡会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、天文教育普及研究会

宿泊場所：民宿 長七；岐阜県高山市上宝町蔵柱

Tel: 0578-86-2531

車で参加される方は事前に伊東までご連絡ください。なお、道路事情が悪いため天文台へは自家用車は上がることを遠慮していただいています。ご承知おきください。

ワークショップの目標

(1) 太陽観測衛星「ひので」など最近の太陽科学研

究の成果をプラネタリウム、公開天文台、科学館あるいは学校などの教育に組み入れるため

(2) 太陽を理解するためのフレームワーク作りのため

(3) 研究者とのコラボレーションのための種とする

(4) 国際太陽年 (IHY) に協力し、広く大勢の人々に太陽について興味を持ってもらうため

(5) 世界最高級の性能を持つ望遠鏡を使って太陽を学び、子どもたちへ太陽科学の面白さや太陽エネルギーについて伝える

なお、本ワークショップは「子ども夢基金助成補助」を受けて実施します。

プログラムの詳細は

http://shin-pla.info/related_events/20070908ws.pdf

でダウンロードできます。

会務案内

内地留学奨学金応募者の募集について

この奨学金は主として学校の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員などやアマチュア天文研究者の方々の研究活動・調査活動を支援する制度です。学生の応募も可能です。

この奨学金を受給された場合、日本国内の日本国内の大学や天文台などの研究機関を利用し、その研究者の指導を受けて研究活動を行うこととなります。

いままで、多くの方がこの制度を利用して、それぞれ関心をお持ちのテーマで研究をされてきました。奮って、ご応募下さい。

研究をしてみたいがその内容にふさわしい機関や指導者が分からないという場合は、内地留学奨学金選考委員長に相談して下さい。

過去の奨学金の対象となった研究テーマは本会の会員名簿の巻末、及び学会ホームページに掲載されています。

募集要項

応募資格：日本天文学会員

採択数：若干名

留学期間：2008年1月から1年間の希望する期間

希望者と受入研究機関、指導教官（受入研究者）と相談の上、夏休みなどの長期休業時に集中させたり、週に1回程度の研究日を設定するなどの方法が考えられます。なお研究終了後研究報告書の提出をお願いいたします。

支給額：25万円以下で、支給は2008年1月を予定しています。

申し込み：応募申請書に必要事項を記入し、指導教官の捺印とコメントを得た上、〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会理事長 宛に郵送して下さい。

応募締切：《2007年8月31日（金）必着》

審査：内地留学奨学金選考委員会（内規第5条）で審査の上、決定し、10月下旬に通知します。

応募用紙：日本天文学会事務室にあります。（学会事務室に電話をくだされば郵送します。）申請書の書き方の例もありますからご請求下さい。なお、天文学会の会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります。

ご相談・問い合わせ先：〒371-8510 前橋市荒牧町 4-2 群馬大学教育学部理科教育講座

内地留学奨学金選考委員長 岡崎 彰

Tel: 027-220-7292 Fax: 027-220-7222

E-mail: okazaki@edu.gunma-u.ac.jp

天文学会事務所 Tel: 0422-31-1359

Fax: 0422-31-5487

E-mail: jimmu@asj.or.jp

訂正

2007年6月（第100巻第6号）の月報だより「2007年春季年会報告」に間違いがありました。訂正してお詫び致します。

310頁 座長一覧 B（誤）藤川行雄（正）勝川行雄

天文月報オンラインのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード vol98 の計 10 文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。

和田桂一(編集長), 浅井 歩, 今西昌俊, 衣笠健三, 齋藤正雄, 寺田幸功, 戸谷友則, 三好 真, 矢野太平, 吉田直紀
平成 19 年 6 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2007 年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）